

申請したきっかけは？

妙見地区連合町会では、地域住民のコミュニケーション活動の場として妙見市民館を利用して様々な行事を行っております。活動の中で参加者からカラオケを歌いたい！との要望が多くありました。また、妙見市民館は、湿気対策として除湿器を1台使い対応しておりましたが、1台では不足カビ発生に悩んでおりました。しかし、連合町会の世帯数も年々少なくなり、町会費の値上げも困難な状況で、購入に必要な財源の確保ができず困っており、申請しました。

共同募金配分金で物品の整備をしました!!

妙見地区連合町会

今後どのようにしていきたいですか？

一人でも多くの方に行事に参加してもらい、妙見地区の行事をより活気あるものにしていきたいと思います。物品の整備により、高齢者の閉じこもり防止や近所の仲間づくり、地域での見守り活動の強化、参加者の健康増進など様々な効果が考えられます。住民が住みよい町づくりを目指し、参加者と様々な意見を出し合い、妙見地区連合町会の活動を盛り上げていきたいと思っております。



仲間づくりの場
となっています

参加者の声

ここにれば仲間とおしゃべりができていつのまにか笑顔になっています

みんなの顔を見れば安心します

楽しいです

市民館まで歩いているので健康増進につながっています



地域福祉活動を応援します。～誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり～

対象

配分(助成)額及び助成率

申請募集期間

申請した次の年に地域福祉活動の推進を目指した事業を実施予定であり、赤い羽根共同募金に積極的に協力しているボランティア団体・グループ(自治会・町内会)・社会福祉施設

対象事業の総事業費予算300万円の範囲内で1団体につき50万円

4月末～5月末

※配分(助成)額は総事業費の75%上限

配分(助成)対象費用

備品・機材等購入費、会議費、交通費、資料作成費、その他運営費(人件費、飲食費は原則として対象外)

【例】町内会の除雪活動のための除雪機購入、防災備品の整備、子供会の物品購入等

青森市共同募金委員会

〒030-0802
青森市本町4丁目1-3
青森市福祉増進センター内
TEL 017-723-1340
FAX 017-777-0458



青森市浪岡地区共同募金委員会

〒038-1311
青森市浪岡大字浪岡字稲村274
青森市浪岡総合保健福祉センター内
TEL 0172-62-9011
FAX 0172-62-9015



じぶんの町をよくするしくみ 青森市共同募金委員会

今年度も赤い羽根共同募金へご協力をお願いします。

運動期間 10月1日▶12月31日

ひとり暮らし高齢者給食会の様子
(勝田奥野地区社協)



“募金の使いみち”は
青森市及び青森県内。

あなたの
ほんの少しの思いやりが
地域福祉の推進に
大きく役に立ちます。

クリスマス大会の様子
(青森市手をつなぐ育成会)



学生ボランティアとの交流会の様子
(青森市母子寡婦福祉会)

グランドゴルフ大会の様子
(青森市老人クラブ連合会)



ありがとう

ご協力お願いします

平成27年度募金実績

35,120,716円 となりました。ありがとうございました。

戸別募金

世帯を対象にした募金

30,894,418円

街頭募金

街で歩いている方を対象として運動をPRする募金

356,350円

法人募金

企業を対象とした募金

1,015,688円

職域募金

お店で働く職員を対象にした募金

797,161円

学校募金

保育園・小学校・中学校・高校の生徒を対象に福祉教育を目的とした募金

500,132円

一般募金

老人クラブ・社会福祉施設・自動販売機等での募金

1,556,967円

※青森市内でさまざまな種類の募金活動が展開されております。ご協力いただける範囲での募金をお願いいたします。※平成27年度募金配分内訳については、中面をご覧ください。

青森市社会福祉協議会を通じて
青森市内に配分されます。

17,110,000円 (48.7%)

高齢者の福祉向上のために 12,170,209円

- ひとり暮らし高齢者給食サービス事業に (ひとり暮らし高齢者給食会) 市内の70歳以上のひとり暮らしの方(希望者)を対象に、地区社協を単位として、月1回食事会を行っています。平成27年度は、延べ16,282人の参加がありました。この事業により、ひとり暮らしの方の安否確認、孤独感の解消、また地域でのコミュニケーション作りが図られており、皆さん次回をとて心待ちにしています。また、地域のボランティア発掘にもつながり、地域の活性化につながっております。
- ひとり暮らし高齢者の料理教室に 130,000円
- 敬老会に 3,380,000円
- 老人クラブの育成に 370,000円

障がい児・者の福祉向上のために 145,000円

- 障がい児・者団体の育成に 115,000円
- 家族会の育成に 30,000円

児童・青少年・母子の福祉向上のために 715,000円

- 子ども会の育成に 40,000円
- 子どものイベント開催に 30,000円
- ボランティア推進校の活動に 545,000円
- 母子家庭の交流会に 100,000円

地域福祉の向上のために 4,079,791円

- 地区社協活動に 4,029,791円
- 民生委員児童委員の活動に 50,000円

「地区社協(地区社会福祉協議会)」とは…

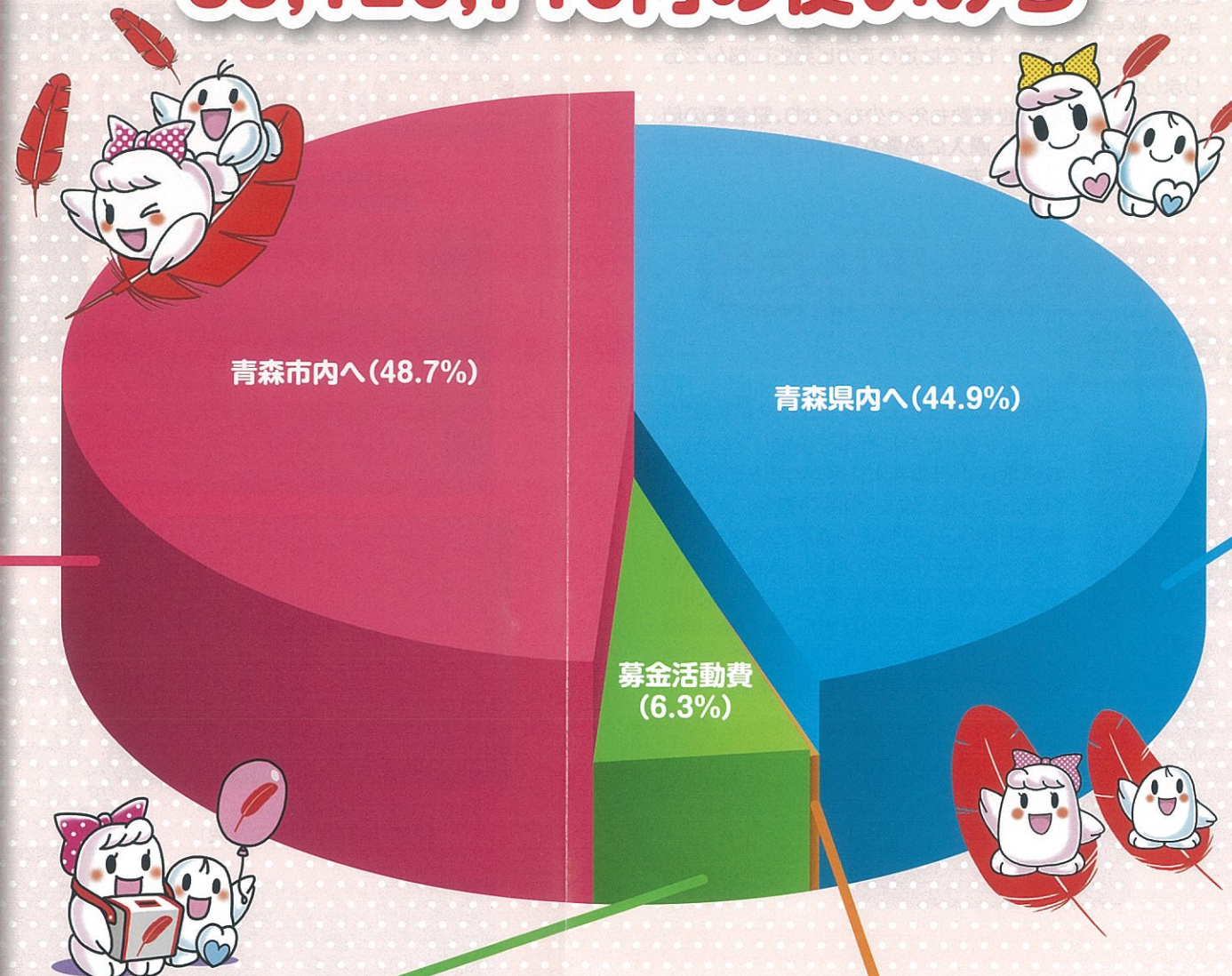
町会が複数集まって組織された団体で、地域の特色を生かしたさまざまな福祉活動を展開しています。

代表的な地区社協活動

- 敬老会開催 ●高齢者見守り活動 ●環境美化活動 ●いきいきサロン
- 子ども健全育成 ●防災訓練 ●福祉研修会 など

平成28年度に配分されます

35,120,716円の使いみち



青森市内へ(48.7%)

青森県内へ(44.9%)

募金活動費(6.3%)

青森市内の募金活動費に

2,218,421円 (6.3%)

チラシ等の作成費、通信運搬費など

青森市内の災害に遭われた方や遺族の方へ

35,000円 (0.1%)

災害見舞金・災害弔慰金

家屋の全損	(2件)	20,000円
家屋の半損	(1件)	5,000円
死亡弔慰金	(2件)	10,000円

平成27年度は上記のとおり支給されています。

青森県内の市町村社会福祉協議会の重点配分の一部として

八戸市 外ヶ浜町 鱒ヶ沢町
深浦町 大鰐町 南部町
中泊町 横浜町 風間浦村

青森県共同募金会を通じて
青森県内の施設・団体へ配分の一部として

15,757,295円 (44.9%)

地域福祉活動のために

- 妙見地区連合町会
地域交流活動に必要な備品等の整備

詳しくは裏面をご覧ください

社会福祉団体事業に

- 青森県社会福祉協議会
高齢者障がい者のための自己表現に向けた基盤整備事業ほか
- 青森県民生委員児童委員協議会
民生委員・児童委員活動の引継ぎマニュアルほか
- 青森県里親連合会
里親レクリエーション会ほか
- 青森県ボランティア連絡協議会
青森県ボランティアフェスティバルほか
- 青森県社会福祉法人経営者協議会
県内地域での社会福祉法人の地域貢献のための調査研究事業
- 青森県知的障害者福祉協会
青森県知的障害者福祉協会部会研修事業
- 青森県老人福祉協会
東北ブロックカントリーミーティングin青森ほか
- 青森県老人クラブ連合会
老人クラブ地域支え合い推進事業
- 青森県保育連合会
保育の未来プロジェクト・フォーラムほか
- 青森県母子寡婦福祉連合会
スタッフジャンパー作製事業ほか
- 青森県身体障害者福祉協会
ねむのき祭り開催事業
- 青森県手をつなぐ育成会
本人活動支援事業ほか
- 青森県腎臓病患者連絡協議会
勉強会備品購入事業
- 青森県視覚障害者福祉会
第69回全国盲人福祉大会青森大会

地域活動支援センター(Ⅲ型)備品整備に

- しらかば共同作業所 ●WaiWaiはうすコスモス
- ほのほのサークル ●ちゅうおう作業所
- ワークあかり ●フレンドワークほんじゅ

障がい児・者等福祉施設の備品整備に

- セルフステーション青森 ●響
- くーる作業所・花園 ●丸山の郷 ●ふうあの家
- スタジオとまと ●ハートフレンド
- やましろ作業所 ●第一あけぼの
- 向日葵ハウス

赤い羽根Q&A

Q 赤い羽根共同募金って何?

A 赤い羽根共同募金は昭和22年から始まり、今年で第70回目を迎える歴史ある運動です。共同募金は、私たちの住む地域で行政の制度・サービスでは支えられない地域福祉活動の財源となっております。赤い羽根共同募金運動はじぶんの町をよりよくするために行われる運動です。

Q なぜ目安額が決められているの?

A 赤い羽根共同募金運動は地域福祉活動にどのくらいの財源が必要であるかというのを募金運動が始まる前に使いみちを決める「計画募金」で行われるため、目安額を決めております。これはあくまでも目安なので募金額はお気持ちでお願いします。

Q 実際にどのような活動に使われているの?

A 大きく分けると青森市内では高齢者のために、障がい児・者のために、児童・青少年・母子のために、地域福祉向上のために使われています。